

## お知らせ

緊急事態宣言が出されたため、9月12日(日)まで執事会とCS教師会を除くすべての活動をお休みします。日曜日は、それぞれのご家庭で礼拝を守ってください。なお、緊急事態宣言が延長された場合は、延長期間終了まで休みます。

### －礼拝心得－

- ◆礼拝は神の恵みと招きによって行われるものです。厳粛な思いと感謝の応答をもって、礼拝をささげましょう。
- ◆礼拝5分前には着席し、週報に目を通し、聖書・讃美歌もすぐに開けるように備えましょう。また、私語を慎み、祈りの心をもって開会を待ちましょう。
- ◆祈拝中は入場を待ち、終わってから静かに着席しましょう。
- ◆しばらくの間、礼拝堂のベンチは3人掛けで、1列ずつ空けて座ってください。

### －集会案内－

- ◆主日礼拝 毎週日曜日午前10時30分～11時30分
- ◆教会学校 毎週日曜日午前9時～10時
- ◆シオン会（聖書を読み、祈りを合わせる会）  
毎週水曜日午前10時30分～11時30分、午後7時～8時
- ◆なかよし文庫（絵本や児童書の貸し出し） 毎週火曜日午後1時～5時  
どの集会もどなたでも参加できます。どうぞご自由においでください。

### 先週の集会出席者数

5日	主日礼拝	休止
----	------	----

# 日本基督教団 姫路教会 週報

No.24

〒670-0093  
兵庫県姫路市南新在家5-16  
TEL 079-292-3683  
FAX 079-292-3684  
牧師 橋本直行

## 姫路教会創立130周年記念宣教主題

「いのちによりそう教会－創立150周年に向けて－」

### 2021年度目標聖句

「わたしは世の光である。わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、命の光を持つ。」（ヨハネによる福音書8章12節）

## 聖霊降臨節第17主日

2021年9月12日（日）10時30分

司会：山田俊朗

奏楽：ヒムプレーヤー

前奏		
招詞	詩編126編3～6節	司会者
讃美歌	431番	(一同)
交読詩編	57編2～6節	(一同)
聖書	ヤコブの手紙2章8～13節	
祈禱	(新約聖書 p.423)	司会者
讃美歌	521番	(一同)
説教	『差別』	橋本直行牧師
祈禱		橋本直行牧師
讃美歌	560番	(一同)
主の祈り	93番5-A	(一同)
献金		
報告		司会者
頌栄	26番	(一同)
祝禱		橋本直行牧師
後奏		

## ◆次週予告

- ◇礼拝 2021年9月19日（日）午前10時30分～  
（聖霊降臨節第18主日）高齢者祝福式礼拝  
招詞：イザヤ書46章3～4節  
交読詩編：57編2～6節  
聖書：マタイによる福音書19章16～27節  
説教：『完全な者』橋本直行牧師  
讃美歌：432・522・520番 頌栄：26番  
司会：福西浩司 奏楽：永井敬子  
礼拝当番：山本佐知子 受付：中尾和子  
献金：大西和江・山田和子 看板：長田一司  
掃除：池内伸壽・池内知子・長田一司・関口直美・大西和江

## ◆本日の予定

- ◇13時より、CS教師会準備会を開催します。

## ◆教会

- ◇本日は、教会創立138周年記念・永眠者記念礼拝を行う予定でしたが、緊急事態宣言が出されたため、会堂での礼拝を休止しました。ご遺族の皆様に主の豊かな慰めが与えられますようにお祈りいたします。

- ◇15日（水）10時30分、19時よりシオン会を開催します。詩篇44編を学びます。

- ◇次週19日（日）は高齢者祝福式礼拝です。75歳以上の方々のお祝いをいたします。

- ◇次週19日（日）礼拝後、東日本大震災支援委員会を開催します。

## ◆教会学校

- ◇19日 お話：福西愛子 奏楽：堀井麻矢 活動：幸田富紀子

## ◆なかよし文庫

- ◇14日（火）から貸し出しを再開します。

## ◆日ノ本幼稚園

- ◇2022年度の願書を配布していますので、お入り用の方は橋本牧師か永井敬子園長にお申し出ください。お知り合いの方などにお勧めいただけますと幸いです。

- ◇14日（火）、入園見学説明会を行います。

- ◇17日（金）、8月生まれの誕生礼拝を行います。

## ～礼拝を構成する要素について～

### ⑦信仰告白

#### 現代の信仰告白

基本信条は、過去において神学的な論争の中で作られてきたので、どうしても理屈っぽく、また必ずしも現代の私たちが置かれた状況を十分にくみ取ったものとはなっていません。もっと自由に喜びに満ちた信仰の告白、あるいは今日の課題にふさわしい告白外礼拝で用いられてよいでしょう。信仰告白はその時代に生きる人々の信仰の告白なのですから、その都度新しくされていくのは自然なことです。今日、様々な信仰告白が作られ、礼拝で用いられるようになっていきます。

### ⑧司式者（司会者）と奏楽者など

礼拝の信仰を担当する人を一般に司式者と言います。「司会者」と呼んでいる教会もありますが、礼拝式を司るので「司式者」と呼ぶ方がふさわしいという考えもあります。司式は、カトリック教会、聖公会、ルター派などでは基本的に司祭や牧師が行います。司式者に、アコライトと呼ばれる助者がつく場合もあります。日本のプロテスタント教会では司式の大部分を信徒が担っている場合が多く、これは日本の教会に特有の傾向であるかも知れません。会衆が礼拝の重要な部分を担うという意味では開かれた礼拝であると言えますが、牧師は礼拝全体に責任を負っているのだから、基本的には牧師が行うべきだという考えもあります。牧師・司祭が司式を行う場合でも、聖書朗読は信徒が担当するなど、礼拝での役割が牧師・司祭ばかりにならないような工夫がなされています。聖餐式の際にパンと杯を配ったり、献金を集めたり、感謝の祈りをしたりする当番も、教会のメンバーの中から選ばれています。

礼拝でオルガンなどを演奏する人は「奏楽者」と呼ばれます。教会によってはパイプオルガン演奏の専門家がいる場合もありますが、そのようなケースはむしろまれで、アマチュアの方々が弾いている場合が多いでしょう。ちなみにドイツの教会では、教会音楽の担当者（カントール）が教会音楽に対して責任を負っています。J・S・バッハはライプツィヒの教会のカントールでした。